



眼鏡光学－眼鏡フレーム－用語

JIS B 7280 : 2006

(ISO 7998 : 2005)

(FOIA/JSA)

平成 18 年 3 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学
(委員)	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	秋 庭 悦 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	天 野 正 喜	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	大 熊 志津江	文化女子大学
	岡 田 宏	社団法人繊維評価技術協議会
	長 見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	加 藤 さゆり	全国地域婦人団体連絡協議会
	加 藤 隆 三	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	小 熊 誠 次	社団法人日本オフィス家具協会
	三 枝 繁 雄	財団法人製品安全協会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	芝 原 純	社団法人消費者関連専門家会議
	沼 尻 禎 二	財団法人家電製品協会
	長谷川 政 章	株式会社西友
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	村 田 政 光	財団法人日本文化用品安全試験所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.4.1 改正：平成 18.3.25

官 報 公 示：平成 18.3.27

原 案 作 成 者：福井県眼鏡工業組合

(〒916-0042 福井県鯖江市新横江 2-3-4 めがね会館 TEL 0778-51-1724)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、福井県眼鏡工業組合(FOIA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 7280:1987** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 7998:2005, Ophthalmic optics—Spectacle frames—Lists of equivalent terms and vocabulary** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 用語及び定義.....	1
3. 対応語一覧.....	3
3.1 プラスチックフレーム又は天然有機材料のフレーム.....	3
3.2 メタルフレーム.....	4
3.3 コンビネーションフレーム.....	6
3.4 縁なしフレーム及び溝掘フレーム.....	8
3.5 様々な部品.....	10
3.6 ISO 8624 の寸法測定方式を含むフレーム測定の用語.....	16
3.7 玉型板.....	20
解 説.....	21

眼鏡光学－眼鏡フレーム－用語

Ophthalmic optics－Spectacle frames－Vocabulary and lists of equivalent terms

序文 この規格は、2005 年に第 1 版として発行された **ISO 7998**, Ophthalmic optics－Spectacle frames－Lists of equivalent terms and vocabulary を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、眼鏡フレームに関して一般に使用される用語について規定する。ただし、ゴーグルには適用しない。

なお、フレームの部品の対応、英語、仏語、露語、独語、伊語、スペイン語、米語及び中国語の対応語を参考に示す。

参考 ゴーグルとは、眼か（窩）部分をしっかりと囲み、顔面に固定する構造の眼鏡（**EN165:1995** 参照）

備考1. 図は代表例であり、例えば、ばね丁番をはじめとしたすべてのデザインのものを含んでいるわけではない。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 7998:2005, Ophthalmic optics－Spectacle frames－Lists of equivalent terms and vocabulary (IDT)

2. 用語及び定義 この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

2.1 プラスチックフレーム (plastic frame) フロントの主要部品がプラスチック材料で作られているフレーム。

2.2 天然有機材料で作られたフレーム (frame made of natural organic materials) フロントの主要部品が天然有機材料で作られ、プラスチック材料と同様な特性をもつフレーム。

備考1. 天然有機材料 (natural organic material) とは、他の原料からの合成物ではなく、加工後も本質的に最初の状態が維持される材料（**ISO 12870** 参照）。

2. 用語上では、天然有機材料で作られているフレームは、プラスチックフレームと同じ構造とする。

2.3 メタルフレーム (metal frame) フロントの主要部品が金属で作られているフレーム。

2.4 コンビネーションフレーム (combination frame) フロントの主要部品の幾つかがプラスチック材料、又はこれと同様な特性をもつ天然有機材料で作られていて、他の主要部品が金属で作られているフレーム。